

I 令和7年度 概要

○ 検診（健診）事業

巡回検診は、受診数の減少傾向と対象人口の減少を考慮して計画数を算定しました。また、セット検診や夜間検診などで受診機会を増やし、受診者確保に努めてまいります。

施設健診では、令和6年度の実施状況を踏まえ、受診者増の計画としました。また、「けん館」でも下部内視鏡検査を導入して、受診者確保に努めてまいります。

○ 機器の整備

老朽化した乳がん検診車の更新のほか、読影用ビューアー、超音波診断装置などの医療機器の整備を行い、検診の質と作業効率の向上を図ります。

「けん館」では、下部内視鏡検査の開始に伴い、透視画像観察システムや、下部消化管拡大スコープなどの医療機器を導入いたします。

○ 予算

昨今の物価高騰に伴い、巡回検診・施設健診ともに検診（健診）料金の値上げを致します。

がん検診収入は、人口減少や高齢化を考慮し、減少の見込みとしました。生活習慣病健診収入は7%の増収とし、収入予算全体として前年度より34,945千円の増加としました。

事業支出は、給与のベースアップや医師の確保に伴う人件費を見込み、前年度比で29,310千円の増加。それにより、営業利益27,196千円、当期利益23,887千円を見込む予算といたしました。

令和7年度予算損益計算書:対比表

(単位:千円)

科目	A: R7 年度予算	B: R6 年度予算	増減 (A-B)
事業収入	1,636,695	1,601,750	34,945
がん検診収入	974,244	984,540	▲10,296
生活習慣病健診収入	659,394	614,781	44,613
その他収入	3,057	2,429	628
事業支出	1,609,499	1,580,189	29,310
人件費	766,081	742,317	23,764
その他事業費	843,418	837,872	5,546
営業利益	27,196	21,561	5,635
営業外収入	4,953	3,464	1,489
営業外費用	8,240	8,680	▲440
納税充当金	22	22	0
当期利益	23,887	16,323	7,564

Ⅱ 事業計画

1 検診（健診）事業

巡回検診及び施設健診等を実施します。

また、精密検査が必要な方を対象に、下部内視鏡検査等を実施します。

(1) 巡回検診

(単位：件)

検診・検査種目		令和7年度	令和6年度	
		実施計画数	計画数	実績※
① 胃がん検診		70,440	78,100	72,721
② 子宮頸がん検診	検診車	19,410	19,500	17,887
	日母方式	13,155	13,033	10,725
③ 胸部検診	撮影	17,800	19,000	18,068
	肺がん読影	10,230	11,000	10,535
	喀痰	1,389	1,411	1,385
	結核読影	15,720	16,600	15,847
④ 乳がん検診	エックス線検査	26,410	27,200	25,917
	超音波	2,520	2,600	2,500
⑤ 大腸がん検診		81,630	87,600	84,762
⑥ 肝臓・胆のう・膵臓・腎臓超音波検診		14,700	15,100	13,182
⑦ その他検診		1,090	550	473
計		274,494	291,694	274,002

(2) 施設健診

(単位：件)

検(健)診・検査種目		令和7年度	令和6年度	
		実施計画数	計画数	実績※
① 生活習慣病予防健診（協会けんぽ）		22,025	20,550	19,341
② 生活習慣病予防健診（協会けんぽ外）		7,521	7,585	6,934
③ 特定健診		5,264	4,290	4,360
④ 定期健診		6,950	6,650	6,039
⑤ 住民がん検診		10,155	7,900	8,776
⑥ オプション検査		35,883	31,710	35,094
⑦ 診療所（胃・大腸内視鏡検査、ピロリ菌除菌）		369	290	269
⑧ その他		1,829	1,410	1,649
計		89,996	80,385	82,462

※令和7年1月31日現在

(3) 事業推進活動

【巡回検診】

- ① 受診率向上のため、以下の取組みを行います。
 - ・検診の受診勧奨(コール・リコール)を行います。また、市町村独自の受診勧奨用パンフレット等を提供します。
 - ・受診対象者並びに企業等を退職して健康保険が国保に切り替わる方に、がん検診の受診を推奨するリーフレットを作成し配布します。
 - ・受診者の利便性を図るため、休日検診、各種セット検診、夜間検診、レディース検診等を実施します。特に女性が受けやすい環境に配慮し、乳がん検診と子宮がん検診をセットで実施します。
- ② 当協会の精度管理の高さを伝えるために、以下の取組みを行います。
 - ・実施主体等に配布する印刷物等に各種がん検診データ（要精検率、がん発見率等）を掲載します。
 - ・精密検査や定期的な検診の受診に繋げるため、がん検診成績及び全国認定医療機関のデータ等を QR コード化し、結果通知書やリーフレット等に記載します。
- ③ 年度末にかけて、地元スーパー 2 社と連携して大腸がん検診の検査キットを販売することで、市町村検診の受け漏れを補い、大腸がんの早期発見に努めます。
- ④ 胃がん検診の対象年齢未満の若年者を対象に、ピロリ菌検診を実施します。また、未実施市町村に対し事業を推進します。
- ⑤ 肺がんエックス線検診に AI 診断補助を用い、精度の高い検診を実施します。
- ⑥ 乳がん検診とセットで骨粗鬆症検診を実施します。また、未実施市町村に対し事業を推進します。

【施設健診】

- ① 未受診事業所に営業活動を行います。
- ② 希望する実施主体に、巡回での生活習慣病予防健診、特定健診を実施します。
- ③ 受診者の健診結果説明時に、結果により、医療機関への紹介状・情報提供書を作成・発行できるシステムを構築し、円滑な連携を図るとともに、次回の受診に繋がります。
- ④ オプション検査の充実を図ります。
- ⑤ AI 診断補助を用いるなど、精度の高い健診を実施します。
- ⑥ 子育て世代の女性に、子宮頸がん検診を受診しやすい環境を整備します。
- ⑦ けん館に、下部内視鏡検査の実施体制を整えます。

(4) 検診（健診）情報処理・管理

「各種がん検診」及び「生活習慣病予防健診」等のデータ処理を行います。

また、受検票の打出し、国の PHR 事業や、実施主体の要望に応じたデータバンクの還元、協会けんぽ等への請求・報告データの受け渡しなど、多様化するデータ管理を適正に処理するため、システムのアップデートやセキュリティを強化します。

2 普及啓発事業

(1) 広報活動

項 目	内 容
① メディア広報	がんや生活習慣病の予防と、検診（健診）の必要性を広く知ってもらうため、年間を通じて、啓発活動を行う。
② インターネットの活用	ホームページ等、ネットの広報を充実させる。
③ 「nobi-yaca」	当協会の事業を紹介する広報誌を年2回（9・3月：各2,500部）発行し、市町村、事業所、会員等に配布する。
④ 協 賛 等	がん予防や生活習慣病の広報やイベントに協賛する。
⑤ がん征圧月間	9月の「がん征圧月間」に、がんに関する記事等を新聞掲載する。各報道機関に「がん征圧月間」を取り上げるよう依頼する。

(2) 印刷物の配布、教材の貸し出し

受診率向上のために、実施主体へ啓発用オリジナルリーフレットを無料配布するほか、賛助会員へ模型やDVDを貸し出し、広くがんや生活習慣病に関する知識の普及を図ります。

(3) 講師派遣

講演会やイベントへ講師を派遣します。また、小・中・高校生を対象にがん教育の「出前授業」を実施し、若年層への知識の普及を行います。希望に合わせて、オンラインでも実施いたします。

(4) 「検診担当管理職会議」の開催

主に市町村の管理職者を対象に、事業説明や最新情報について研修を行います。

(5) 「がん検診担当者的会議」の開催

実施主体のがん検診担当者を対象に、次年度事業に関する連絡及びがんに関する情報を提供するとともに、専門講師による研修を行います。

(6) 「保健師・看護師がん検診情報研修会」の開催

主に市町村の保健師・看護師を対象に、がん検診の情報を周知するとともに、事業に関する情報交換を図ります。

(7) 会員

がん予防知識の普及啓発活動等、協会の趣旨に賛同される会員を募集します。

(参考)

	6年度会員数	5年度会員数	4年度会員数
法人	204件	202件	202件
個人	545件	562件	581件

※令和7年1月31日現在

(8) 寄付

香典返しに代えての寄付、快気祝い・還暦祝いなどの個人のお祝いや、企業の社会貢献のための寄付等を受付けます。

(参考)

	6 年度	5 年度	4 年度
件数	3 件	1 件	1 件
金額	298,235 円	200,000 円	200,000 円

※令和7年1月31日現在

3 保健支援事業

(1) ブレスト・アウェアネス教室

依頼のあった市町村などに職員を派遣し、乳がんに関する正しい知識及び乳房を意識する生活習慣（ブレスト・アウェアネス）の普及を図ります。

(2) がん予防電話相談事業

がん予防の知識普及のため「がん予防電話相談」を実施します。併せて、日本対がん協会の「がん相談ホットライン」も紹介します。

(3) 特定保健指導

特定保健指導の実施率向上を目指す、国の「第4期特定健康診査等実施計画」に基づき、「動機付け支援」や「積極的支援」を実施します。

(4) 人間ドック受診者への健康支援

結果説明を踏まえ、健康維持や改善に向けた保健指導を行うなど、健康管理を支援します。

(5) 精密検査受診勧奨

精密検査対象者の速やかな医療機関受診（早期受診）勧奨を継続します。また、医療機関から結果の返送がない場合は、実施主体を通して受診状況確認と受診勧奨を行い、受診率向上に努めます。

(6) 各種がん検診の予後調査

がん検診の精度管理として、岩手県医師会成人病登録室に、検診で発見されたがん罹患者の情報を提供し、5年生存率及び10年生存率を把握します。

4 調査研究事業

(1) 事業年報等の発行

検診（健診）受診数及び精密検査受診状況を年報にまとめ、市町村や医療機関へ提供します。

(2) 論文・研究・学会発表

がん及び生活習慣病についての論文等を各種学会に発表し、医療の質の向上に役立てます。

(3) 調査研究協力等

- ① 日本対がん協会に、がん発見率等のデータを提供し、全国統計の作成に協力します。
- ② 関連学会（消化器がん検診学会等）にデータを提供し、公衆衛生の向上に寄与します。

(4) 技術研修会の主催

医療従事者を対象に、検診部位毎の症例検討会や勉強会を開催し、検診・診断技術の向上を図ります。

5 医療技術職の育成・援助

必要に応じて、医療技術職（診療放射線技師・臨床検査技師・看護師）の養成学校に在学する者に、修学資金を貸与することにより、医療技術者の確保及び資質の向上を図ります。

Ⅲ 事業運営機器の整備

		備 考
検 診 車	MMG検診車	
乗 用 車	普通乗用車	
医 療 機 器	読影用ビューアー ナチュラルビューアー 超音波診断装置 内視鏡画像診断支援プログラム 下部消化管拡大スコープ 透視画像観察システム 臨床化学自動分析装置 画像サーバー容量拡大 読影用モニターPC	
什 器 備 品	サーバー ノートパソコン ポータブル電源	
無 形 固 定 資 産	財務会計システム 健診システム改修	
合 計	143,139千円	